

令和元年6月5日

各位

九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門
生物機能分子化学講座 ゲノム化学工学分野
教授候補者選考委員会委員長
熊丸敏博

九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門
生物機能分子化学講座 ゲノム化学工学分野
教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり生命機能科学部門 生物機能分子化学講座 ゲノム化学工学分野 教授候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

教授・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する教授は、大学院農学研究院 生命機能科学部門 生物機能分子化学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府 生命機能科学専攻 生物機能分子化学教育コースおよび農学部生物資源環境学科担当教員となります。生物機能分子化学講座は生物化学分野、水族生化学分野、海洋資源化学分野、生物物理化学分野、植物栄養学分野、農業薬剤化学分野、植物分子機能学分野、ゲノム化学工学分野の8研究分野で構成されており、農学・生命科学の分子的基盤である複雑な生命現象の発現と調節に係る機能素子の作用機構の解明、機能素子間の相互作用解明とその応用を目指した研究を推進しております。また、大学院生物機能分子化学教育コースおよび農学部生物資源環境学科では、生命現象を分子レベルで理解し、それを人類に役立てる活動を推進しうる人材を組織的に養成する教育を進めています。

ゲノム化学工学分野は、当講座の多くの研究分野が進めている生物分子化学および分子生物学的視点からの農学生命科学の教育・研究と共に、ゲノムを主たる対象として化学の専門的な視点から

- 1) 独自のゲノム編集技術に基づく新奇ゲノム工学技術開発とその利用
- 2) ゲノム機能改変に資するゲノム編集技術等の開発、改良、およびその利用
- 3) ゲノムと遺伝子の構造と機能の解明

について先端的な教育研究を担当します。

今回採用する教授としては、基礎生物学、基礎ゲノム科学における卓越した研究業績を有し、かつ旺盛な研究発信力と国際的な研究活動を推進できる能力を有する方で、遺伝子

工学、ゲノム工学的な応用研究においても先進的教育・研究を推進しうる方を求めています。

本職は本学に新設された「植物フロンティア研究センター」の植物分子デザイン部門 ゲノム工学ユニット教授も担当します。当該職においては、ゲノム編集に関わる独自の基盤技術を有し、同技術を用いて有用植物の作出と産業化に関する研究開発を推進することが望まれます。

3. 採用予定時期

教授会承認後可能な限り早い時期

4. 応募資格

博士の学位を有するとともに、上記の領域において卓越した業績と該博な識見を有し、学部および大学院担当教員として学生の教育や研究指導に熱意をもって取り組む方

5. 担当授業科目

(1) 大学院

・修士課程

(生命機能科学専攻 生物機能分子化学教育コース)

生物機能分子化学特論 I、同 II、生物機能分子化学プロジェクト演習、生物機能分子化学特別研究第一、同第二、生物機能分子化学ティーチング演習、生物機能分子化学演示技法、国際交流演習、国際交流実践演習等

(国際コース)

Master's thesis research I、同 II、 Seminar in a special field I、同 II、Molecular bioscience I 等

・大学院博士後期課程

(生命機能科学専攻 生物機能分子化学教育コース)

生物機能分子化学特別実験、生物機能分子化学特別講究、生物機能分子化学特別演習、国際演示技法、ティーチング演習、プロジェクト演習等

(国際コース)

Research training on molecular biosciences、Teaching practice、Presentation skill for academic meeting、Internship、Project research、Advanced topics on molecular biosciences 等

(2) 学部

国際コースも含め、必要に応じて担当

(担当可能な基幹教育科目)

基幹教育セミナー、課題協学科目等

注：英語での講義も担当していただきます。

6. 提出書類等

(1) 略歴書

(2) 業績目録(新しい順に記載)

I. 原著論文: 著者名(本人の氏名に下線を、責任著者に*を記すこと)、題名、掲載雑誌名、巻、頁、発行年の順、(i) 査読付き雑誌、(ii) 査読なし雑誌、(iii) 国際学会 プロシーディングス、(iv) その他、で区分すること

II. 著書: 著者名、題名、発行所、頁、発行年

III. 総説、解説等: 著者名、題名、掲載雑誌名、巻、号、頁、発行年

- IV. 特許等
 - V. 学会等での受賞
 - VI. 国際学会等招待講演
 - VII. 外部資金の導入実績: 名称、研究課題名、期間、金額、代表・分担の別
 - VIII. 教育実績
 - IX. 社会貢献等の実績
 - X. その他: 資格等
- (3) 主要論文の別刷またはその写し(5編)
 - (4) これまでの研究の概要と今後の研究に関する抱負(1,500字以内)
 - (5) これまでの教育の実績と今後の教育に関する抱負(1,500字以内)
(教育実績のない場合は、今後の教育に対する抱負)
 - (6) 植物フロンティア研究センターにおける活動に関する抱負等(1,500字以内)
(ゲノム編集技術に関する独自の技術についての説明と、それを用いた活動に関する抱負について記載してください)
 - (7) 上記(1)、(2)、(4)～(6)のWordファイルとPDFファイル、および(3)のPDFファイル、を保存したUSBメモリー
 - (8) 推薦書
自薦の場合: 自薦書および応募者の教育・研究などについて問い合わせのできる方2名の氏名および連絡先
他薦の場合: 推薦書(1通)

注: (1)、(2)については、次のURLにあるフォーマットに従って作成してください。

<https://share.iii.kyushu-u.ac.jp/public/O6s0wA4IEgsASfcBAaFqilj-5WEHSgZw8ZXo2pFppiDy>

7. 面接等

審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。

8. 提出締切

令和元年7月31日(水) 必着

書類は書留またはそれに準ずる方法で提出のこと。

9. 提出書類の送付先

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744

九州大学伊都地区 ウエスト5号館669a室

九州大学大学院農学研究院 生物機能分子化学講座事務室

ゲノム化学工学分野教授候補者選考委員会事務局

松岡 健

10. 問い合わせ

九州大学大学院農学研究院 生命機能科学部門 生物機能分子化学講座

ゲノム化学工学分野 教授候補者選考委員会

委員長 熊丸敏博

E-mail: kumamaru@agr.kyushu-u.ac.jp

電話：092-802-4842

1 1. その他

- (1) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行います。
- (2) 九州大学では「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
- (3) 九州大学では、平成29年7月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。
- (4) 本研究院、学府、学部等の教育研究概要等は、ホームページ（<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp>）を参照してください。
- (5) 植物フロンティア研究センターについては、ホームページ（<http://plantfrontier.kyushu-u.ac.jp/>）を参照してください。
- (6) 送付された資料は返却いたしません。また、選考以外の目的には使用しません。
- (7) 給与等の諸待遇については、本学の関係規程により決定します。詳細についての問い合わせ先：九州大学農学部事務部総務課庶務係（電話：092-802-4505）